

ギニア月報（2025年6月）

主な出来事

【内政】

- 25 日、国内における選挙人登録作業（生体認証）が終了。
- 26 日、暫定議会で採択された新憲法案の暫定大統領への手交式開催。

【外政】

- 2 日、セネガルのソンコ首相が来訪。ドゥンブヤ暫定大統領と会談。
- 7 日、バー首相が大阪・関西万博のギニアナショナルデー（6/10）出席のため日本に向け出発。11 日大阪でギニアビジネスセミナーを開催。12 日東京で林官房長官、JICA 田中理事長とそれぞれ会談。
- 17 日、暫定大統領、コートジボワールを訪問。ワタラ大統領と会談。

【経済（開発協力含む）】

- 16 日、暫定大統領、アフリカ輸出入銀行（Afreximbank）及びヴィスタギ（Banque Vistagui）銀行による道路改修のための 5 億ドルユーロの融資を認証。
- 30 日、米国国際開発庁（USAID）、ギニアにおいて 12 事業、合計約 3000 万ドルの支援を中止。

1 内政

- ・ 1 日、主要野党 UFDG で亀裂拡大。党内に改革派サークル（CERAG-UFDG）結成。
- ・ 16 日、大統領令（デクレ）により国土行政・地方分権省の権限を強化。選挙や国民投票の実施も所管することに。
- ・ 21 日、大阪・関西万博に関連した査証をめぐってギニア関係者による不正取引疑惑があると報道（mosaiqueguinee.com）。容疑者が警察に告発される。
- ・ 25 日、65 日間続いた国内における選挙人登録作業（生体認証）が終了。
- ・ 26 日、暫定議会（CNT）で採択された新憲法案の暫定大統領手交式が開催。

2 外交

- ・ 2 日、セネガルのソンコ首相が来訪。ドゥンブヤ暫定大統領と会談。
- ・ 5 日、シマオ西アフリカ・サヘル国連特使兼国連事務総長特別代表が訪問。民政移管プロセスについて意見交換。
- ・ 7 日、バー首相が大阪・関西万博のギニアナショナルデー（6/10）出席のため

め日本に向け出発。11 日大阪でギニアビジネスセミナーを開催。12 日東京で林官房長官、JICA 田中理事長とそれぞれ会談。

- ・ 12 日、ベルギーの入管部局トップが来訪。ギニア人移民申請は不正が多く 90%は拒否されるとし今後より措置を厳しくすると発言。他方、現在 1 万人のギニア人がベルギーに滞在し、家族、職業や学術交流は継続と強調。
- ・ 16 日、フランス国営ラジオ放送 (RFI)、ギニアのコナクリ港がロシアからマリへ輸出される軍事装備品の玄関口になっていると報道。
- ・ 17 日、暫定大統領、コートジボワールを訪問。ワタラ大統領と会談。

3 経済（経済協力含む）

- ・ 2 日、ギニアのマリ県に石油鉱脈がある可能性。ギニア石油公社 (SONAP) が現地調査を実施と報道 (guineenews)。
- ・ 3 日、セク・トゥーレ国際空港 (コナクリ) の航空管制システム整備のための BPI フランスによる 3900 万ユーロの融資契約が大統領令で認証される。
- ・ 7 日、ドゥンブヤ暫定大統領、カンカンで最新式医療センターを開館。「シマンドゥ 2040」の一環と説明。
- ・ 10 日、世銀、沿岸地域での漁業・漁業養殖支援のため 1 億ドルの融資を承認。また仏開発庁も協調融資 (2000 万ドル)。「シマンドゥ 2040」及び「水産戦略 2022-2027」の一環と説明。
- ・ 11-14 日、プリズム電気通信・デジタル経済大臣、パリ開催のテック国際サロン「Viva Tech 2025」に参加。ギニアから Mansa Talents、BilletFacile、Suite.Africa、EasyLinkGN、Yolan などのスタートアップも参加。
- ・ 16 日、暫定大統領、アフリカ輸出入銀行 (Afreximbank) 及びヴィスタギ (Banque Vistagui) 銀行による道路改修のための 5 億ドルユーロの融資を認証。
- ・ 19 日、シマンドゥ事業 (1 及び 2 鉱区) に必要な一部電力を供給する火力発電所が始動。
- ・ 30 日、米国国際開発庁 (USAID)、ギニアにおいて 12 事業、合計約 3000 万ドルの支援を中止。

(了)